

平成27年度東海北陸ブロック研修会報告

日時：平成27年9月5日（土）10：30～16：00

場所：福井県国際交流会館 参加者：88人

恐竜王国の福井県へようこそ



(1) 保健師活動の実践報告（座長：名古屋市 万田支部長）

① 「母子保健、その夢ある保健師活動

～地域の温かい眼差しが注がれる仕組み～ 名張版ネウボラ」

三重県支部：三重県名張市健康福祉部健康支援推進担当理事兼

子育て世代包括支援センター長 西嶋知子 氏

② 「被災地派遣の取り組みから考えるリーダーの役割」

愛知県支部：愛知県健康福祉部医療福祉計画課 主幹 榊原るり子 氏

(2) 調査研究報告

「ソーシャルキャピタルの醸成に係る保健師の能力形成に関する研究」の報告

調査研究班（滋賀県東近江健康福祉事務所） 黒橋真奈美 氏

(3) グループワーク「地域における保健師の保健活動について」

(4) 総括 「全国保健師長会の活動について」全国保健師長会副会長 佐川きよみ 氏

東海北陸ブロックでは、昨年度から実践報告を取り入れ、1日方式で研修会を開催しています。

実践報告では、西嶋様より地区診断から市の課題と強みを分析し、シニア世代も活躍する住民主体の子育て支援についてのご報告、榊原様からは東日本大震災時に被災地派遣活動で担った本庁の役割、平時からの保健所・市町村との協働、そして、リーダーとしての役割についてご報告いただきました。

参加者からは、お二人の篤いご報告に、「地区活動、住民主体、住民との信頼関係等大切なキーワードを盛り込んだ話が大変参考になった」、「報告者がエネルギッシュでパワーがあり、自分たちで叶えたい夢を考えてみたいと感じた」、「被災地派遣に必要なことをまとめていただき大変参考になる」、「経験を伝えることの必要性を再認識した」、「リーダーとしての役割を学んだ」等の感想をいただきました。

午後からの黒橋様の調査研究報告では、これまでの研究成果に加えソーシャルキャピタル醸成の能力形成のプロセスやOJTについて、分かり易く報告いただき、午前中の報告とリンクする内容で、「地域に責任を持った職員を育成することが課題であるが、職場で話し合ってみよう」等の感想がありました。

グループワークは、1グループ4～6人の少人数の構成とし意見交換を行いました。「他の県や市町村の方と情報交換ができてとてもよかった」、「元気が出た」等の意見をいただきました。

最後に、佐川副会長様から、研修会の総括と全国保健師長会活動の報告をいただき、保健師活動の動向と本会の活動内容や役割が参加者に伝わり、関心を持っていただく機会となりました。

参加者からは、ニーズに合った内容の研修会で有益であったとの評価をいただきました。

報告者の方々、各支部長様はじめ御協力をいただきました皆様、参加者の皆様に感謝申し上げます。

(記：東海北陸ブロック理事 谷口真理子)

